



あしたかホーム秋の利用者作品展

「福祉との出会い」

みはるの丘浮島 施設長

長田 直樹

今年四月より、みはるの丘浮島の施設長に就任しました長田と申します。平成十五年に中途採用で入社し

今年で二十年目を迎え、二年目からみはるの丘浮島開設に合わせてデイ、シヨート、ケアマネ等の在宅サービスの仕事をさせていただきました。経験年数はベテランかもしれませんが、施設長としてまたわからない事も多く課題もコロナ感染予防、人材確保と育成、安定運営等、山積していますが、中でも人材確保が一番の課題です。職員の入れ替わりは様々な理由がありますが、働きやすい職場環境を整えて長く働いてほしいと思います。

福祉の仕事に就いたきっかけは、同居していた祖母が認知症になり家で介護した時に介護の仕事を知ったことからです。介護の仕事に興味を持った私は、当時福祉の仕事に就いていた高校の同級生に連絡を取り介護の仕事について話を聞き、子供の頃、同居の祖父母によくかわいがられた私は、安易に介護の仕事もできそうだと思います。妻に転職の相談をしたら、本当にできるか心配される、今の仕事をやめてまで転職する

ことを押し切れず、一度は見合わせました。

その後、転職した時に近くにあったデイケアに休日を利用してボランティアとして介護体験をした時に、ヘルパー2級研修を紹介され、働きながら資格を取れたことで妻も転職に賛成してくれました。そして、法人の採用試験を受け平成十五年に就職することが出来ました。初めは、伊豆中央ケアセンターに一年お世話になり、初心者の方に介護の仕事を優しく親切に教えていただきました。みはるの丘浮島に異動後、利用者が元気に楽しくサービスを利用してくれることに、営業職では味わえない喜びを感じました。高齢になると誰もが、老化に伴い体力も衰え物忘れなども出てきます。その中で少しでも元気に暮らせるお手伝い出来ることは本当にやりがいある仕事だと思います。この介護の「人」を支え守る仕事は、人を思いやる気持ちが必要になります。自分も含めて職員は、思いやりを持って、仲間と協力し合い、仕事をしたいと思っています。